

令和4年度

# 人権の花育成記録

周南市立鹿野小学校

平成16年に鹿野小学校の一人の児童が幼くしてこの世を去りました。もっともっと輝き続けたはずの大切な命です。この児童といっしょに学び・遊んだ日々を忘れないために、また、命を大切にしていってほしいという願いから、鹿野小学校PTA（現PTCA）の発案で「友情の花だん」を作ることになりました。

この活動には、たくさんの方々が賛同され、丸太の据え付けや土の移植、花の植え付けなど様々な活動を経て、立派な花壇が完成しました。



『命輝け「友情の花だん」』

(平成17年2月20日鹿野小学校・PTA)

本年度は、デザイン花壇に取り組みました。最奥部は、フジバカマです。鹿野地区では、フジバカマが植えられている所が数カ所あり、秋には鹿野小学校にもアサギマダラが飛来して、児童はもとより花壇の近くを通られる人たちの目を楽しませています。



2021年5月、友情の花壇の痛みが激しいため全面的に改修を行うことになりました。保護者・学校教職員はもとより、地域の方々も参加して丸太のオイルステイン塗りや据え付けを行いました。

同6月には、全校児童が花の苗を植えました。



前列の花壇の中央には、ヒマワリを植えました。ヒマワリといえば、人権の花の代表的なものの一つです。そのヒマワリをハート型に配置することで、児童一人ひとりが優しい気持ちを持ち、いじめを許さない、みんなが楽しく過ごせる鹿野小学校にしてほしいと願っています。

ヒマワリの右隣には、ブルーサルビア（花言葉は知恵）とメランポディウム（花言葉は元気）を、左隣にはジニア（花言葉は幸福）を配置して鹿野小学校の校訓『聡しく やさしく たくましく』を象徴しています。